

4 月 の 安 心 か わ ら 版

4月の主な行事

1日 :	エイプリル・フール	14日 :	オレンジデー
7日 :	世界保健デー	18日 :	発明の日
8日 :	花祭り	20日 :	通信記念日
10日 :	駅弁の日、女性の日	22日 :	アースデー
12日 :	パンの記念日	29日 :	昭和の日



今月のかわら版 : 1 「江戸の粋・江戸しぐさ」

「江戸思草」は、江戸商人が築き上げた行動哲学であり、よき商人としていかに生きるべきかという商人道でした。また、人間関係を円滑にするための人づきあい、共生の知恵でもありました。江戸の町は18世紀には人口140万人に達し、当時世界最大級の都市でした。その人口密度は、現在の東京よりも高かったといわれています。市街地の大半は武家屋敷が占めており、町民は限られた地域でひしめきあって暮らしていました。そのため、相手を思いやり、居心地よく過ごすことが大切に考えられていました。

◆江戸しぐさ・あれこれ◆

「三脱の教え」

初対面の人に年齢、職業、地位を聞かないルールがありました。相手を思いやる心と、人を肩書きだけで判断しないという姿勢のあらわれです。

「時泥棒」

断りなく相手を訪問したり、約束の時間に遅れるなどで相手の時間を奪うことは重い罪（十両の罪）にあたりとされました。

「打てば響く」

気配りをして、すばやく対応することを身上としました。

「こぶし腰浮かせ」

乗合船などで後から来る人のために、こぶしひとつ分腰を浮かせて席をつくります。

「往来しぐさ」

往来でのマナーのこと。狭い道をすれ違う時など会釈をし、「肩引き」をしてお互いがぶつからないようにしたり、雨のしずくが相手にかからないように「傘かしげ」する等です。道の真中を歩くのではなく、自分が歩くのは道の三割にして、残りの七割は相手のためにあけておく「七三の道」などが自然に行われていました。

この他にも、「ロクを利かす」（第六感を磨く）や、「陽にいきる」（プラス思考）など、粋で今も色あせないエッセンスがあふれています。進学や就職、転職の多い春。新しい生活をスムーズに始めるためのヒントにもなりそうですね。

今月のかわら版 : 2 「ダイヤモンド」

4月の誕生石といえばダイヤモンド。ダイヤモンドは日本名で「金剛石」といいます。金剛とは「最も硬いもの」の意味で、ダイヤモンドは鉱石の中で一番硬い石です。

人が一番最初にダイヤモンドを手にしたのは、2500年以上も昔。インドで発見されたと言われていました。希少価値があり珍重されましたが、その硬さ故に原石のまま、岩や石を削る道具として扱われていました。

15世紀になって初めて「ダイヤモンドはダイヤモンドで磨く」という方法が発見され、次第に宝石としての価値が上がり、他の宝石を圧倒する地位を得たのです。その後、研磨技術が向上し、17世紀に入るとダイヤモンドの輝きを最大限に引き出す現在のブリリアントカットの原型、初期ブリリアントカットが考案されました。

ダイヤモンドはその硬さと圧倒的な輝きから、恋や結婚の純粋さを表し、絆を深めるとして、婚約指輪として贈る習慣があります。一方、中世までは「永遠の絆を守り、悪霊を払い勝利に導く」といわれ、富と権力を持つ人々が身につけたり、戦地に赴く兵士のお守りとして大切にされたのだそうです。

ダイヤモンドは、地表から約120～200kmという地球深部で形成されます。さらにマグマの中で熱と圧力によって鍛えられ、地表近くまで運ばれてきた炭素の結晶です。過酷な過程から生まれるダイヤモンドは、いつの時代も永遠の象徴です。

